



居住地校交流だより



令和7年3月12日発行〈後期号〉

障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが共に活動する機会を通して、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができるように、国、県と共に交流及び共同学習を推進しています。

本校でも、児童生徒が自分の住んでいる地区の学校を訪問し、居住地校交流を行っています。今年度は年間を通して小学部22名、中学部8名の児童生徒が交流を行うことができ、たくさんの人と出会い、触れ合い、様々な体験を味わうことができました。今号では、後期に実施した交流の様子を紹介いたします。



北陽中学校 3年生（美術）

シールを使って様々な感情（喜び、悲しみ、怒り等）を表現しました。同じグループの友達と相談をしながら制作しました。



東中学校 1年生（特別活動）

ボール渡しリレーや相手校の生徒が事前に考えたクイズ等のレクリエーションに参加し、一緒に楽しみました。



花岡小学校 3年生（体育）

お楽しみ会に参加しました。好きなキャラクターの登場する紙芝居やかるたをよく見て楽しみました。



保護者の方の感想



理解しやすい内容を取り上げてもらったことで、すんなり取り組むことができました。体づくり運動では、楽しそうに協力して動く場面が見られてよかったです。友達の優しさも感じました。来年も機会がいただけたら、ぜひ交流したいです。

1年生の時から、毎年交流をさせてもらっています。本人が喜びそうなことを、相手校の児童が色々と考えてくれて、とてもありがたいです。本人も楽しそうに参加しているので、ぜひ来年も参加したいです。

本人にとって、とてもよい刺激になった体験でした。自己紹介や感想をみんなの前で話したり、写真を撮ったりする場面ではとても感動しました。また交流の機会を作っていただけたらありがとうございます。



友達とたくさんお話や活動ができて、楽しそうな笑顔がたくさん見られて嬉しかったです。また交流したいと思いました。



有浦小学校 5年生（体育）

しっぽとりやボウリング、ボール送りリレー等を行いました。友達と言葉を掛け合いながら、時間いっぱい楽しみました。

令和6年度の居住地校交流への御協力、ありがとうございました。
令和7年度も有意義な交流を実施できますよう、保護者の皆様、小・中学校の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

ありがとうございます



よろしくおねがいします。